

健全化比率DB (武蔵野市)

『健全化比率DB』は、健全化比率の基礎データからの分析、他団体との比較、独自比率の算定などができる、市区町村財政分析データベースです。

「*」印は、財政統計研究所の算定データです。

資料作成/財政統計研究所		データ年度 選択団体名	2007(H19)年 武蔵野市	2008(H20)年 武蔵野市	2009(H21)年 武蔵野市	2010(H22)年 武蔵野市	2011(H23)年 武蔵野市
健全化判断比率一覧	1-001	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)	7.50	8.22			
	1-002	実質赤字比率 *	7.74	8.47			
	1-003	早期健全化基準(11.25~15%)	-11.49	-11.47			
	1-004	(参考)公営比率 *	6.29	5.27			
	1-005	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-)	6.49	5.43			
	1-006	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)	13.78	13.50			
	1-007	連結実質赤字比率 *	14.23	13.90			
	1-008	早期健全化基準(16.25~20%)	-16.49	-16.47			
	1-009	実質公債費比率(3ヵ年平均)	2.96	2.13			
	1-010	実質公債費比率 *	1.54	0.91			
	1-011	補正単年度実質公債費比率(本年度)	1.59	0.94			
	1-012	将来負担比率	-51.5	-44.8			
	1-013	将来負担比率 *	-53.2	-46.2			
	1-014	修正将来負担比	-65.9	-59.0			
	1-015	補正修正将来負担比率	-68.2	-60.8			
	1-016	参考資料 *	3.13	2.88			
	1-017	臨時財政対策債発行可能額(本年度)/標準財政規模(本年度)	4.63	5.08			
	1-018	元利償還金等に係る基準財政需要額算入額(本年度)/標準財政規模(本年度)	-11.79	17.16			
	1-019	標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	-14.55	13.79			
	1-020	補正標準財政規模増減率(5年) (本年度/5年前)	2.08	2.27			
	1-021	人口増減率(5 (本年度.3.31住基人口/5年前.3.31住基人口)	1.31	1.31			
	1-022	人口増減率(5 (国調人口/前回・国調人口)	都市Ⅲ-3	都市Ⅲ-3			
	1-023	市町村類型等 (前年度市町村類型等)					
	1-024	財政統計研究所 *	7.49	8.22			
	1-025	(切捨処理後の比率)	13.78	13.49			
	1-026	実質公債費比率(3ヵ年平均)	3.1	2.1			
	1-027	将来負担比率	-51.4	-44.7			
	1-028	総務省 公表比率	-	-			
	1-029	実質赤字比率	-	-			
	1-030	連結実質赤字	-	-			
1-030	実質公債費比率(3ヵ年平均)	3.1	2.1				
1-030	将来負担比率	-	-				
実質赤字比率	2-031	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	切捨て	7.49	8.22		
	2-032	実質赤字比率(総務省)	切捨て	-	-		
	2-033	実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-) *	四捨五入	7.50	8.22		
	2-034	補正実質黒字比率(+) 又は 補正実質赤字比率(-) *	四捨五入	7.74	8.47		
	2-035	早期健全化基準(11.25~15%)		-11.49	-11.47		
	2-036	実質赤字額又は黒字額 (一が赤字) A (本年度分)		2,901,709	3,244,645		
	2-037	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) B=C+D (本年度分)		38,711,202	39,458,054		
	2-038	標準財政規模(臨時財政対策債発行可) C (本年度分)		37,499,629	38,323,237		
	2-039	臨時財政対策債発行可能額 D (本年度分)		1,211,573	1,134,817		
	2-040	実質赤字比率の算定に用いた、一般	一般会計等1	会計名	一般会計	一般会計	
2-041	会計等の会計名と実質収支額 (1~	一般会計等1	実質収支額	2,901,709	3,244,645		

2-042	16) 実質赤字比率=A/B*100が負数の場合における、A/B*100の絶対値	一般会計等2	会計名					
2-043		一般会計等2	実質収支額					
2-044		一般会計等3	会計名					
2-045		一般会計等3	実質収支額					
2-046		一般会計等4	会計名					
2-047		一般会計等4	実質収支額					
2-048		一般会計等5	会計名					
2-049		一般会計等5	実質収支額					
2-050		一般会計等6	会計名					
2-051		一般会計等6	実質収支額					
2-052		一般会計等7	会計名					
2-053		一般会計等7	実質収支額					
2-054		一般会計等8	会計名					
2-055		一般会計等8	実質収支額					
2-056		一般会計等9	会計名					
2-057		一般会計等9	実質収支額					
2-058		一般会計等10	会計名					
2-059		一般会計等10	実質収支額					
2-060		一般会計等11	会計名					
2-061		一般会計等11	実質収支額					
2-062		一般会計等12	会計名					
2-063	一般会計等12	実質収支額						
2-064	一般会計等13	会計名						
2-065	一般会計等13	実質収支額						
2-066	一般会計等14	会計名						
2-067	一般会計等14	実質収支額						
2-068	一般会計等15	会計名						
2-069	一般会計等15	実質収支額						
2-070	一般会計等16	会計名						
2-071	一般会計等16	実質収支額						
2-072		一般会計等	合計(1~16)	2,901,709	3,244,645			
連結実質赤字比率	3-073	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		切捨て	13.78	13.49		
	3-074	連結実質赤字比率(総務省)		切捨て	-	-		
	3-075	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	13.78	13.50		
	3-076	補正連結実質黒字比率(+) 又は 補正連結実質赤字比率(-) *		四捨五入	14.23	13.90		
	3-077	早期健全化基準(16.25~20%)			-16.49	-16.47		
	3-078	公営会計連結黒字比率(+) 又は 公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	6.29	5.27		
	3-079	補正公営会計連結黒字比率(+) 又は 補正公営会計連結赤字比率(-) *		四捨五入	6.49	5.43		
	3-080	連結実質赤字額又は黒字額 (一が赤字)	A	(本年度分)	5,335,974	5,325,336		
	3-081	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	B=C+D	(本年度分)	38,711,202	39,458,054		
	3-082	標準財政規模(臨時財政対策債発行)	C	(本年度分)	37,499,629	38,323,237		
	3-083	臨時財政対策債発行可能額	D	(本年度分)	1,211,573	1,134,817		
	3-084	連結実質赤字比率の	1	一般会計等	合計	2,901,709	3,244,645	
	3-085	算定に用いた、会計	2	公営事業1	事業区分	①	①	
	3-086	名と実質収支額また	3	公営事業1	会計名	国民健康保険事	国民健康保険事業会計	
3-087	は資金不足・剰余額	4	公営事業1	実質収支額	84,782	64,860		
3-088	(1~116) 連結実	5	公営事業2	事業区分	②	②		
3-089	質赤字比率	6	公営事業2	会計名	介護保険事業会	介護保険事業会計		
3-090	=A/B*100が負数の	7	公営事業2	実質収支額	133,517	242,590		
3-091	場合における、	8	公営事業3	事業区分	⑤	③		
3-092	A/B*100の絶対値	9	公営事業3	会計名	老人保健(医療)	後期高齢者医療会計		

3-093		10	公営事業3	実質収支額	1,734	14,169		
3-094		11	公営事業4	事業区分	0	⑤		
3-095		12	公営事業4	会計名		老人保健(医療)会計		
3-096		13	公営事業4	実質収支額		112,115		
3-097		14	公営事業5	事業区分	0	0		
3-098		15	公営事業5	会計名				
3-099		16	公営事業5	実質収支額				
3-100		17	公営事業6	事業区分	0	0		
3-101		18	公営事業6	会計名				
3-102		19	公営事業6	実質収支額				
3-103		20	公営事業7	事業区分	0	0		
3-104		21	公営事業7	会計名				
3-105		22	公営事業7	実質収支額				
3-106		23	公営事業8	事業区分	0	0		
3-107		24	公営事業8	会計名				
3-108		25	公営事業8	実質収支額				
3-109		26	公営事業9	事業区分	0	0		
3-110		27	公営事業9	会計名				
3-111		28	公営事業9	実質収支額				
3-112		29	公営事業10	事業区分	0	0		
3-113		30	公営事業10	会計名				
3-114		31	公営事業10	実質収支額				
3-115		32	公営事業11	事業区分	0	0		
3-116		33	公営事業11	会計名				
3-117		34	公営事業11	実質収支額				
3-118		35	公営事業12	事業区分	0	0		
3-119		36	公営事業12	会計名				
3-120		37	公営事業12	実質収支額				
3-121		38	公営事業13	事業区分	0	0		
3-122		39	公営事業13	会計名				
3-123		40	公営事業13	実質収支額				
3-124		41	法適1	会計名	水道事業	水道事業		
3-125		42	法適1	資金不足・剰余額	2,203,614	1,627,597		
3-126		43	法適2	会計名	0	0		
3-127		44	法適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-128		45	法適3	会計名	0	0		
3-129		46	法適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-130		47	法適4	会計名	0	0		
3-131		48	法適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-132		49	法適5	会計名	0	0		
3-133		50	法適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-134		51	法適6	会計名	0	0		
3-135		52	法適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-136		53	法適7	会計名	0	0		
3-137		54	法適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-138		55	法適8	会計名	0	0		
3-139		56	法適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-140		57	法適9	会計名	0	0		
3-141		58	法適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-142		59	法適10	会計名	0	0		
3-143		60	法適10	資金不足・剰余額	0	0		

3-144	61	法適11	會計名	0	0		
3-145	62	法適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-146	63	法適12	會計名	0	0		
3-147	64	法適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-148	65	法適13	會計名	0	0		
3-149	66	法適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-150	67	法適14	會計名	0	0		
3-151	68	法適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-152	69	法適15	會計名	0	0		
3-153	70	法適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-154	71	法適16	會計名	0	0		
3-155	72	法適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-156	73	法適17	會計名	0	0		
3-157	74	法適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-158	75	法適18	會計名	0	0		
3-159	76	法適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-160	77	法適19	會計名	0	0		
3-161	78	法適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-162	79	法非適1	會計名	下水道事業	下水道事業		
3-163	80	法非適1	資金不足・剰余額	10,618	19,360		
3-164	81	法非適2	會計名	0	0		
3-165	82	法非適2	資金不足・剰余額	0	0		
3-166	83	法非適3	會計名	0	0		
3-167	84	法非適3	資金不足・剰余額	0	0		
3-168	85	法非適4	會計名	0	0		
3-169	86	法非適4	資金不足・剰余額	0	0		
3-170	87	法非適5	會計名	0	0		
3-171	88	法非適5	資金不足・剰余額	0	0		
3-172	89	法非適6	會計名	0	0		
3-173	90	法非適6	資金不足・剰余額	0	0		
3-174	91	法非適7	會計名	0	0		
3-175	92	法非適7	資金不足・剰余額	0	0		
3-176	93	法非適8	會計名	0	0		
3-177	94	法非適8	資金不足・剰余額	0	0		
3-178	95	法非適9	會計名	0	0		
3-179	96	法非適9	資金不足・剰余額	0	0		
3-180	97	法非適10	會計名	0	0		
3-181	98	法非適10	資金不足・剰余額	0	0		
3-182	99	法非適11	會計名	0	0		
3-183	100	法非適11	資金不足・剰余額	0	0		
3-184	101	法非適12	會計名	0	0		
3-185	102	法非適12	資金不足・剰余額	0	0		
3-186	103	法非適13	會計名	0	0		
3-187	104	法非適13	資金不足・剰余額	0	0		
3-188	105	法非適14	會計名	0	0		
3-189	106	法非適14	資金不足・剰余額	0	0		
3-190	107	法非適15	會計名	0	0		
3-191	108	法非適15	資金不足・剰余額	0	0		
3-192	109	法非適16	會計名	0	0		
3-193	110	法非適16	資金不足・剰余額	0	0		
3-194	111	法非適17	會計名	0	0		

3-195		112	法非適17	資金不足・剰余額	0	0		
3-196		113	法非適18	会計名	0	0		
3-197		114	法非適18	資金不足・剰余額	0	0		
3-198		115	法非適19	会計名	0	0		
3-199		116	法非適19	資金不足・剰余額	0	0		
3-200		A	連結黒字赤字額	合計(1~116)	5,335,974	5,325,336		
4-201	実質公債費比率*		四捨五入	(3カ年平均)	2.96368	2.12539		
4-202	実質公債費比率(総務省)		切捨て	(3カ年平均)	2.9	2.1		
4-203	実質公債費比率1*		四捨五入	(前々年度分)	3.42590	4.14508		
4-204	実質公債費比率2*		四捨五入	(前年度分)	4.14508	1.32008		
4-205	実質公債費比率3*		四捨五入	(本年度分)	1.32008	0.91101		
4-206	補正単年度実質公債費比率*			(本年度分)	1.59150	0.93948		
4-207	実質公債費負担額1	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(前々年度分)	1,191,742	1,644,507		
4-208	実質公債費負担額2	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(前年度分)	1,644,507	487,343		
4-209	実質公債費負担額3	A=(①~⑦)-(⑧~⑭・⑯)		(本年度分)	487,343	341,204		
4-210	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(前々年度分)	36,158,102	41,196,477		
4-211	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(前々年度分)	34,701,656	39,861,654		
4-212	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(前々年度分)	1,456,446	1,334,823		
4-213	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(前々年度分)	1,371,856	1,522,750		
4-214	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(前年度分)	41,196,477	38,711,202		
4-215	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(前年度分)	39,861,654	37,499,629		
4-216	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(前年度分)	1,334,823	1,211,573		
4-217	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(前年度分)	1,522,750	1,793,473		
4-218	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	B=C+D=⑮~⑰		(本年度分)	38,711,202	39,458,054		
4-219	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=⑮~⑰		(本年度分)	37,499,629	38,323,237		
4-220	臨時財政対策債発行可能額	D=⑰		(本年度分)	1,211,573	1,134,817		
4-221	元利償還等に係る基準財政需要額算入額	E=⑨~⑭・⑯		(本年度分)	1,793,473	2,004,857		
4-222	前々年度分の実質公債費比率の算定に用いた、実質公債費負担額等の算出に係る基礎数値	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)		(前々年度分)	1,375,646	1,435,034		
4-223		② 積立不足額を考慮して算定した額		(前々年度分)				
4-224		③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還額		(前々年度分)	0	0		
4-225		④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債の発行額		(前々年度分)	177,659	146,231		
4-226		⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた額		(前々年度分)	120,143	115,327		
4-227		⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの		(前々年度分)	890,150	1,470,665		
4-228		⑦ 一時借入金の利子		(前々年度分)	0	0		
4-229		⑧ 特定財源の額		(前々年度分)				
4-230		⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	142,096	126,557		
4-231		⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	15,645	26,080		
4-232		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額		(前々年度分)	1,090,950	1,265,472		
4-233		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元金)		(前々年度分)	123,165	104,641		
4-234		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-235		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入された額		(前々年度分)	0	0		
4-236		⑮ 標準税収入額等		(前々年度分)	34,701,656	39,861,654		
4-237		⑯ 普通交付税額		(前々年度分)	0	0		
4-238		⑰ 臨時財政対策債発行可能額		(前々年度分)	1,456,446	1,334,823		
4-239		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方債		(前々年度分)	0	0		
4-240		⑥の内訳	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの	(前々年度分)	0	0		
4-241			いわゆる五省協定等により、利	(前々年度分)	0	0		
4-242			国営土地改良事業並びに独立	(前々年度分)	0	0		
4-243			地方公務員等共済組合が建設	(前々年度分)	0	0		
4-244			社会福祉法人が施設の建設の	(前々年度分)	56,064	54,957		
4-245			損失補償又は保証に係る債務	(前々年度分)		1,415,708		

4-246		地方公共団体以外の者の債務(前々年度分)		0	
4-247		その他これらに準ずると認めら(前々年度分)	834,086	0	
4-248		利子補給に係るもの(前々年度分)	0	0	
4-249	前年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(前年度分)	1,435,034	1,395,519	
4-250	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(前年度分)			
4-251	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(前年度分)	0	0	
4-252	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(前年度分)	146,231	144,537	
4-253	礎数値 前年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(前年度分)	115,327	111,049	
4-254	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(前年度分)	1,470,665	629,711	
4-255	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(前年度分)	0	0	
4-256	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(前年度分)			
4-257	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	126,557	146,899	
4-258	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	26,080	25,466	
4-259		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(前年度分)	1,265,472	1,516,784	
4-260		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(前年度分)	104,641	104,324	
4-261		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0	
4-262		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(前年度分)	0	0	
4-263		⑮ 標準税収入額等(前年度分)	39,861,654	37,499,629	
4-264		⑯ 普通交付税額(前年度分)	0	0	
4-265		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(前年度分)	1,334,823	1,211,573	
4-266		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(前年度分)	0	0	
4-267		⑥の内訳			
4-268		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(前年度分)	0	0	
4-269		いわゆる五省協定等により、利(前年度分)	0	0	
4-270		国営土地改良事業並びに独立(前年度分)	0	0	
4-271		地方公務員等共済組合が建設(前年度分)	0	0	
4-272		社会福祉法人が施設の建設の(前年度分)	54,957	53,851	
4-273		損失補償又は保証に係る債務(前年度分)		575,860	
4-274		地方公共団体以外の者の債務(前年度分)		0	
4-275		その他これらに準ずると認めら(前年度分)	1,415,708	0	
4-276		利子補給に係るもの(前年度分)	0	0	
4-276	本年度分の実質公債	① 元利償還金の額(繰上償還額等を除く)(本年度分)	1,395,519	955,230	
4-277	費比率の算定に用い	② 積立不足額を考慮して算定した額(本年度分)			
4-278	た、実質公債費負担	③ 満期一括償還地方債の1年当たりの元金償(本年度分)	0	0	
4-279	額等の算出に係る基	④ 公営企業に要する経費の財源とする地方債(本年度分)	144,537	139,067	
4-280	礎数値 本年度分	⑤ 一部事務組合等の起こした地方債に充てた(本年度分)	111,049	127,482	
4-281	実質公債費比率	⑥ 公債費に準ずる債務負担行為に係るもの(本年度分)	629,711	1,124,282	
4-282	=A/(B-E)*100=[(①	⑦ 一時借入金の利子(本年度分)	0	0	
4-283	~⑦)-(⑧~⑭・⑱)]/	⑧ 特定財源の額(本年度分)			
4-284	[(⑮~⑰)-(⑨~⑭・	⑨ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	146,899	174,427	
4-285	⑱)]*100	⑩ 事業費補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	25,466	30,497	
4-286		⑪ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(本年度分)	1,516,784	1,711,353	
4-287		⑫ 災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元(本年度分)	104,324	88,580	
4-288		⑬ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0	
4-289		⑭ 密度補正により基準財政需要額に算入され(本年度分)	0	0	
4-290		⑮ 標準税収入額等(本年度分)	37,499,629	38,323,237	
4-291		⑯ 普通交付税額(本年度分)	0	0	
4-292		⑰ 臨時財政対策債発行可能額(本年度分)	1,211,573	1,134,817	
4-293		⑱ 地方財政法第5条の4第1項第2号及び地方(本年度分)	0	0	
4-294		⑥の内訳			
4-295		PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(本年度分)	0	0	
4-296		いわゆる五省協定等により、利(本年度分)	0	0	
4-296		国営土地改良事業並びに独立(本年度分)	0	0	

	4-297		地方公務員等共済組合が建設	(本年度分)	0	0			
	4-298		社会福祉法人が施設の建設の	(本年度分)	53,851	52,745			
	4-299		損失補償又は保証に係る債務	(本年度分)		1,071,537			
	4-300		地方公共団体以外の者の債務	(本年度分)		0			
	4-301		その他これらに準ずると認めら	(本年度分)	575,860	0			
	4-302		利子補給に係るもの	(本年度分)	0	0			
将来負担比率	5-303	将来負担比率*	早期健全化基準(市町村350%政令市400%)	四捨五入	-51.461	-44.781			
	5-304	将来負担比率(総務省)		切捨て	-	-			
	5-305	補正将来負担比率*		四捨五入	-53.207	-46.181			
	5-306	修正将来負担比率*(連結実質黒字額を黒字要素として算定)		四捨五入	-65.914	-59.000			
	5-307	補正修正将来負担比率*		四捨五入	-68.151	-60.843			
	5-308	将来負担額	A	(本年度分)	49,459,059	49,508,430			
	5-309	充当可能財源等	B	(本年度分)	65,773,695	66,280,442			
	5-310	将来負担額(将来負担額から充当可能)	A-B	(本年度分)	-16,314,636	-16,772,012			
	5-311	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	C=E+F	(本年度分)	38,711,202	39,458,054			
	5-312	標準財政規模(臨時財政対策債発行可)	E	(本年度分)	37,499,629	38,323,237			
	5-313	臨時財政対策債発行可能額	F	(本年度分)	1,211,573	1,134,817			
	5-314	元利償還等に係る基準財政需要額算	D(=実質公債費比率の⑨~⑭・⑰)	(本年度分)	1,793,473	2,004,857			
	5-315	標準財政規模から元利償還等に係る	C-D	(本年度分)	36,917,729	37,453,197			
	5-316	将来負担比率の算定	将来負担額	地方債の現在高		25,052,398	23,791,841		
	5-317	に用いた、将来負担		債務負担行為に基づく支出予定額		9,320,078	11,224,960		
	5-318	額等の算出に係る基		公営企業債等繰入見込額		2,660,220	2,597,524		
	5-319	礎数値	将来負担	組合等負担等見込額		1,151,710	1,054,905		
	5-320	比率=[A-B]/[C-D]		退職手当負担見込額		11,131,064	10,727,211		
	5-321	*100		設立法人の負債額等負担見込額	計	143,589	111,989		
	5-322			地方道路公社		0	0		
	5-323			土地開発公社		0	0		
	5-324			第三セクター等		143,589	111,989		
	5-325			連結実質赤字額		0	0		
	5-326			組合等連結実質赤字額負担見込額		0	0		
	5-327		充当可能財源	充当可能基金		27,733,579	27,396,373		
	5-328		等	充当可能特定歳入	計	13,010,054	13,916,319		
	5-329				うち都市計画税	11,549,054	11,697,319		
	5-330			基準財政需要額算入見込額		25,030,062	24,967,750		
	5-331		A	将来負担額	合計	49,459,059	49,508,430		
	5-332		B	充当可能財源等	合計	65,773,695	66,280,442		
	5-333		A-B	将来負担比率算定の分子の額	合計	-16,314,636	-16,772,012		
	5-334		D	算入公債費等の額	合計	1,793,473	2,004,857		
	5-335		C-D	将来負担比率算定の分母の額	合計	36,917,729	37,453,197		
	参考比率	6-336		実質黒字比率(+) 又は 実質赤字比率(-)		7.49	8.22		
		6-337	財政統計研究所*	連結実質黒字比率(+) 又は 連結実質赤字比率(-)		13.78	13.49		
6-338		(切捨処理後の比率)	実質公債費比率(3ヵ年平均)		3.1	2.1			
6-339			将来負担比率		-51.4	-44.7			
6-340			実質赤字比率	-	-				
6-341		総務省 公表比率	連結実質赤字比率	-	-				
6-342			実質公債費比率(3ヵ年平均)		3.1	2.1			
6-343			将来負担比率	-	-				
6-344		参考比率分母(1)*	実質黒字額又は赤字額/歳入総額		4.84	5.48			
6-345		⇒ 歳入総額	連結実質黒字額又は赤字額/歳入総額		8.91	9.00			
6-346		実質公債費負担額/歳入総額		0.81	0.58				
6-347		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入総額		-27.23	-28.35				

6-348	参考比率分母(2)*	実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	6.65	7.58		
6-349	⇒ 歳入一般財源等	連結実質黒字額又は赤字額/歳入一般財源等	12.22	12.44		
6-350		実質公債費負担額/歳入一般財源等	1.12	0.80		
6-351		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/歳入一般財源等	-37.36	-39.17		
6-352	参考比率分母(3)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	16.78	18.48		
6-353	⇒ 基準財政需要額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政需要額	30.85	30.33		
6-354		実質公債費負担額/基準財政需要額	2.82	1.94		
6-355		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政需要額	-94.33	-95.52		
6-356	参考比率分母(4)*	実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	10.37	11.36		
6-357	⇒ 基準財政収入額	連結実質黒字額又は赤字額/基準財政収入額	19.07	18.64		
6-358		実質公債費負担額/基準財政収入額	1.74	1.19		
6-359		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/基準財政収入額	-58.30	-58.71		
6-360	参考比率分母(5)*	実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	21.61	24.09		
6-361	⇒ 住民基本台帳人口	連結実質黒字額又は赤字額/住民基本台帳人口	39.73	39.54		
6-362		実質公債費負担額/住民基本台帳人口	3.63	2.53		
6-363		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)/住民基本台帳人口	-121.49	-124.53		
6-364	健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額	2,901,709	3,244,645		
6-365		連結実質黒字額又は赤字額	5,335,974	5,325,336		
6-366		実質公債費負担額	487,343	341,204		
6-367		将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)	-16,314,636	-16,772,012		
6-368	参考比率分母	(1)歳入総額	59,917,141	59,155,785		
6-369		(2)歳入一般財源等	43,666,040	42,816,994		
6-370		(3)基準財政需要額	17,296,007	17,558,223		
6-371		(4)基準財政収入額	27,983,564	28,569,669		
6-372		(5)住民基本台帳人口(2012(H24)年度より外国人人口を含む)	134,290	134,686		
対前年増減	7-373 実質赤字比率	実質黒字比率又は実質赤字比率		0.73		
	7-374 対前年増減*	補正実質黒字比率又は補正実質赤字比率		0.73		
	7-375	早期健全化基準		0.02		
	7-376 (参考)公営比率	公営会計連結黒字比率又は公営会計連結赤字比率		-1.02		
	7-377 対前年増減*	補正公営会計連結黒字比率又は補正公営会計連結赤字比率		-1.06		
	7-378 連結実質赤字比率	連結実質黒字比率又は連結実質赤字比率		-0.29		
	7-379 対前年増減*	補正連結実質黒字比率又は補正連結実質赤字比率		-0.33		
	7-380	早期健全化基準		0.02		
	7-381 実質公債費比率	実質公債費比率(3年平均)		-0.84		
	7-382 対前年増減*	単年度実質公債費比率		-0.63		
	7-383	補正単年度実質公債費比率		-0.65		
	7-384 将来負担比率	将来負担比率		6.68		
	7-385 対前年増減*	補正将来負担比率		7.03		
	7-386	修正将来負担比		6.91		
	7-387	補正修正将来負担比率		7.31		
	7-388 健全化比率分子	実質黒字額又は赤字額		342,936		
	7-389 対前年増減*	連結実質黒字額又は赤字額		-10,638		
	7-390	実質公債費負担額		-146,139		
	7-391	将来負担額(将来負担額から充当可能財源等を控除した額)		-457,376		
	7-392 健全化比率分母	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)		746,852		
	7-393 対前年増減*	標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を除く)		823,608		
	7-394	臨時財政対策債発行可能額		-76,756		
	7-395 参考比率分母	歳入総額		-761,356		
	7-396 対前年増減*	歳入一般財源等		-849,046		
	7-397	基準財政需要額		262,216		
	7-398	基準財政収入額		586,105		

団体指定・健全化比率DB

武蔵野市・2007年～2012年・連結会計決算

サンプル・一部表示 / 財政統計研究所

財政統計資料館
<http://zaisei.net/>